

## 第3章 区域計画

## ●「区域計画」の推進について

## (1)「区域計画」の構成と取組主体

区域計画は、「地区別計画」の取組支援と他地区に取組を広げるきっかけづくり等を推進する「地区支援目標」と、重点的なテーマに沿った事業ベースの具体的な取組をまとめた「重点テーマと目標」の2つで構成されています

この「地区支援目標」と「重点テーマと目標」の実現に向け、区役所、区社会福祉協議会及び地域ケアプラザが、地域や関係団体・事業者などと協働で取り組んでいきます。

## (2) 地区支援目標

「地区支援目標」は、各地区で展開されている「地区別計画」を中心とした取組について、その充実や実現に向けて、助言等を行うとともに各種助成制度などの活用により、支援を行います。

また、「地区別計画推進策定委員会」や「地区支援チーム」における活動を通じて、各地区の取組を把握し、その手法やノウハウを蓄積して効果的に地域に情報提供することで、他地区にその取組を広げるとともに、取組の支援を行ないます。

目標1	地域での「つながり」づくりの取組を支援し、ともに推進しながら、他の地域へも取組を広げていきます！<つながり>
目標2	多くの人が地域で活躍でき、地域活動が広がっていくことを目指し、地区の支援やコーディネートを行います！<人材・担い手>
目標3	より身近な地域で活動できるよう、地域活動における「機会」「場」に関するノウハウを共有し、活用します！<機会・場>
目標4	地域情報を共有・活用できる体制づくりをすすめます！<情報>
目標5	地域の取組を共有するとともに、活動の広がりを意識しながら継続して取り組めるよう、支援を行います！<安全・安心・健康>

## (3) 区域計画の重点テーマと目標

「重点テーマと目標」は、「区民アンケート」、「分野別・団体別グループインタビュー」や、各地区の「地区別計画推進策定委員会」などでの意見を参考に、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」の提言に基づき、区域での取組が必要と考えられる6テーマを選定しました。

また、「目標」や「主な取組」に関しては、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザを中心に検討を進め、それぞれのテーマの必要性に関して、「背景と取組の方向性」「これまでの取組」「期待されること・求められていること」などを経て、項目を選定しました。

テーマ1	日常的な見守り体制づくりに関する取組	テーマ4	子ども・子育てに関する取組
テーマ2	認知症に関する取組	テーマ5	災害時に支援が必要な方への取組
テーマ3	障がい児・障がい者に関する取組	テーマ6	健康づくりに関する取組

## (4)「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」について

第1期、第2期計画に引き続き、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」が、地区別計画を含めた第3期計画での取組状況の把握や振り返りを行っています。

委員は、学識経験者、福祉保健活動団体等の代表などで構成しています。

## &lt;平成30年度の開催状況&gt;

【第1回】平成30年10月9日

(内容)平成30年度上期推進状況、次期計画策定に向けて など

【第2回】平成31年3月20日

(内容)平成30年度下期推進状況・中間振り返りについて など

## ● 6つの重点テーマの推進状況

### (1) 日常的な見守り体制づくりに関する取組

#### ■ 緑区地域ケア会議～地域で安心して暮らしていくために必要な高齢者の見守りについて～

11月27日に区役所で緑区地域ケア会議が開催されました。今年度のテーマは「地域で安心して暮らしていくために必要な高齢者の見守りについて」としました。そのために、緑区が目指す「見守り」のある地域」のあり方、そのような地域をつくるために必要な取組について、現状や課題の共有と検討を進めました。

元気なうちから地域活動に参加して人とのつながりをつくっておくことも見守りにつながる。男性の参加や、介護サービスにつながらない方への支援は区としても課題。小さな変化に周囲が早く気づき、民生委員や地域包括支援センターにつなぐことができれば、適切に支援ができる。自治会、民生委員、地域包括支援センター、医療関係者、警察など、いろいろな人の重層的な見守りのある地域づくりを進めていくことの必要性が確認されました。(自治会、民生委員、老人クラブ、医療関係者、ケアマネジャー、サービス事業所、警察・消防、区社協、地域包括支援センター、区役所 計65名出席)



▲グループごとの意見交換の様子

### (2) 認知症に関する取組

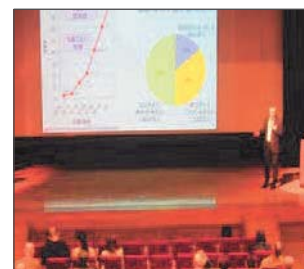
#### ■ 緑区認知症シンポジウム

平成30年度緑区認知症シンポジウムが11月2日に緑公会堂で開催されました(193名参加)。第一部基調講演では、「認知症をポジティブにとらえよう!」をテーマに、認知症介護研究・研修東京センター センター長 山口晴保氏にご講演いただきました。第二部パネルディスカッションでは、同センター研修企画主幹 中村考一氏をコーディネーターに、地域で認知症の方を支援しているパネリストの皆様と、地域での支援者の取組みを紹介しながら「認知症の人が安心して暮らせる地域づくり」について意見交換をしました。

認知症は、高齢者が「なりたくない病気の第一位」と言われています。しかし、超高齢社会を迎えた日本では、65歳以上の高齢者の5人に一人は認知症または軽度認知障害(MCI)となり、95歳以上の有病率は8割になると言われています。そのようななか、認知症のネガティブなイメージを減らし、認知症であっても持てる力を発揮して、幸せに生きることができること、それらのことを地域で示していくことで介護うつや負担感を減らし、認知症にやさしい地域づくりをしていくことが「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を進めていくことに欠かせない要素です。

#### 【パネリスト】

- ・認知症初期集中支援チーム員・医師 北島明佳氏／緑区民生委員・児童委員協議会会長 横塚靖子氏
- ・霧が丘地区キャラバン・メイト 安本とよ子氏／緑区ケアマネジャー連絡会 高部篤史氏
- ・緑区グループホーム連絡会 高田朱美氏／横浜市中山地域包括支援センター 諏訪弘美氏



▲講演の様子

#### ■ 横浜市認知症高齢者等 SOS ネットワーク～『見守りシール事業』開始～

外出時に行方不明になった認知症の高齢者等ができるだけ早く自宅に戻れるよう、ご本人の個人情報を守りながらご家族等への連絡につながる「見守りシール事業」を、12月から開始しました。

## 第3章 区域計画

(対象者)：認知症高齢者等 SOS ネットワーク事前登録及び警察への登録情報提供に同意し、迎えに行ける家族がいる横浜市民

(申込窓口)：区役所高齢・障害支援課、各地域包括支援センター

※迷っていると思われる高齢者等で、衣類や持ち物に貼られたQRコードシールがある場合は、シールをスマートフォンなどの携帯端末で読み取ります。シールに記載された電話番号のコールセンターに、シールに表示されたID番号を伝えると身元が判明し、コールセンターが家族等に連絡します。

### (3) 障害児・障害者に関する取組

#### ■障害者週間パネル展&みどりハートフルマーケット拡充

緑区役所では障害者の社会参加や生きがいづくりの支援と、障害理解の普及啓発を行っています。その一環で、12月第1週の障害者週間に合わせたイベントとして、前年に引き続き区役所敷地内で障害者通所施設の自主製品販売会「みどりハートフルマーケット」を、参加施設を増やした拡大版として行いました。また、新たに、障害児者による芸術作品の展示会やハンド



▲自主製品販売会

ベル演奏、ミドリンバッジの手作り体験を行いました(全3日間、24施設が参加、約600名が来場)。また、今年度は、緑区制50周年に合わせた取組として、オリジナル記念グッズの開発を施設と協力して行い、イベントやみどりハートフルマーケットの商品として販売を行っています。引き続き、共同販売の場の設定や販路拡大、共同販売の場を盛り上げるためのグッズ作成などの支援を行っています。

#### ■みどり元気フェスタ～みどり地域活動ホームあおぞら「命の授業」シリーズ第2回

誰もが住みやすい社会を目指して！障害があってもなくてもみんなが楽しめるフェスティバル。みんなで作るフェスティバル。「みどり元気フェスタ」が1月27日緑公会堂で開催されました。

第一部は、神奈川大学特別招聘教授(元 宮城県知事/厚生省障害課長)浅野史郎氏をお迎えし、障害のある方々の地域生活にこだわり続けた浅野氏の熱い想いを伺い、地域生活を考える機会になりました。第二部では、仲良し夫婦ユニット『ケチャップマヨネーズ?』による「うごく!大きな絵があるコンサート」が披露されました。



▲講演会チラシ

### (4) 子ども・子育てに関する取組

#### ■みどり子育て支援連絡会と地域活動支援～新たな子育て支援の場の広がり～

区内の子育て環境の現状の共有と子育て支援が目指す姿を検討していく「みどり子育て支援連絡会」を開催しています。子育て支援の活性化を図ることを目的に、「全体連絡会」と「地区別連絡会」を開催しています。子育て支援の拡充の必要性が課題としてあがっていた三保地区・長津田みなみ台地区・白山地区で活動情報を掘り下げながら話し合い、身近なところで親子で集える場所が増えるよう進めてきました。▲「はくさん Happy mama's」



昨年度の「みほどんぐりの会」に続いて、子育て支援の場として白山地区で「はくさん Happy mama's」、長津田みなみ台地区で「よちよちみなみ台」が活動を開始しました。いずれも再開発が進んで子育て世代の転入者が増えている地区であることから、活動を通じて地区を知り、親しむ機会になるよう地区の支援者や関係団体なども協力して準備を進めています。



## (5) 災害時に支援が必要な方への取組

### ■区内初の事例「災害時要援護者支援名簿」を提供 ～山下地区民生委員・児童委員協議会の取組～

地震などの災害発生時に、高齢者や障害者などの自力での避難が困難な方々の安否確認や避難支援などが迅速に行われるためには、日頃からの地域と要援護者との関係づくり、地域での支え合あいが重要です。

緑区では、災害対策基本法により災害時要援護者名簿を作成するとともに、同法及び横浜市震災対策条例に基づき、地域の自主防災組織（自治会、地域防災拠点、民生委員児童委員協議会などのこと）と協定を締結したうえで提供できる制度があります。

今回、みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画推進委員会での災害時要援護者支援の議論から、山下地区民生委員・児童委員協議会から当該名簿提供協定締結の申請があり、情報共有方式による名簿提供が行われました。山下地区民児協では、提供された名簿をもとに、マップ化や戸別訪問を行い、支援が必要な人の情報把握等を進めながら、顔の見える関係づくりに取り組んでいます。



▲災害時要援護者支援ガイド

### ■緑区福祉避難所連絡会

横浜市では、大規模災害が発生した時に地域防災拠点や自宅での避難生活が困難な方のため、市内の社会福祉施設などと協定を締結して特別避難場所として位置付けてきました。平成30年4月からは、この名称が全国でも広く使われている「福祉避難所」に改められました。

区内では、特別養護老人ホームや地域ケアプラザ、障害者施設等あわせて25の施設と協定を締結しています。この施設の代表者にお集りいただき、福祉避難所の受け入れ態勢など、各種施設の運用見直し状況、災害時の連絡方法、警察への災害時緊急通行車両の事前届出などについて確認しました。

## (6) 健康づくりに関する取組

### ■疾病の重症化予防事業

横浜市では、健康寿命の延伸のため、「よこはま健康アクション」事業を推進していますが、その一つである「疾病の重症化予防事業」が今年度から全区展開され、緑区でもスタートしました。区民の糖尿病の重症化を予防することで、QOL（生活の質）の向上、健康寿命の延伸を目指しています。

糖尿病などの生活習慣病の可能性のある方、医療機関より案内を受けた方を対象として、栄養士や保健師による定期的・継続的（原則3か月、改善状況を踏まえて判断）な相談支援を行っています。また、その他にも、糖尿病専門医による講演会（講師：横浜新緑総合病院 岡田千穂医師）や生活習慣病講座（2回）を開催しました。

### ■子育て世代の健康チェック～生活習慣改善事業～

家族の健康の要となる親世代、保護者の方を対象として、自己の健康を振り返り、家族の健康づくりに活かすための機会をつくる目的で、生活習慣病予防のための適切な運動や食事の摂り方を伝える生活習慣改善講座を開催しています。今年度は、子育て支援拠点「いっぽ」や「親子の居場所はなまる」、「山下親子の広場」の3か所で、健康チェックや食生活の見直し、歯の健康チェックなどのミニ講座を開催しました。



▲健康チェックの様子

生活困窮者自立支援制度

生活困窮者支援を通じた地域づくり ～地域ネットワーク構築支援事業～

「生活困窮者自立支援制度」は平成27年4月に開始され、生活保護制度の前段階のいわゆる「第2のセーフティネット」として、生活困窮者の支援に取り組む制度です。

この制度では、「生活困窮者の自立と尊厳の確保」と「生活困窮者支援を通じた地域づくり」を目指す目標と定めていますが、横浜市では「お互いに支え合える地域づくり」に向けて、平成30年度に「地域ネットワーク構築支援事業」(モデル事業)を緑区と栄区で実施しました。

この事業では、生活に困窮し支援を必要とする人の早期把握や地域と連携した支援を促進することを目的として、地域ケアプラザ等を拠点として地域の実情に応じた取組を行うこととなっています。

緑区では、地域ケアプラザ及びふじ寿か園地域包括支援センターと企画段階から調整を行い、役割分担するとともに、地域福祉保健計画で進める地域福祉施策との連動を円滑に進めるため、「地区支援チーム会議」「地区別計画推進委員会」など、庁内外での情報共有を進め、関係機関との連携を図りながら、次の取組を行いました。

＜主な取組内容＞

施設名	主な取組内容
十日市場 地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こどもの居場所」に関する検討委員会の開催</li> <li>・「こどもの居場所」の設置・運営</li> </ul>
長津田 地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅自治会を対象とした総合支援(アンケート調査の実施、生活支援情報の提供)</li> </ul>
中山 地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援に関する連絡会の開催(多機関連携の推進)</li> <li>・高齢者向けの講座(仕事やお金に関する)の開催</li> </ul>
東本郷 地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等の買い物支援に向けた検討</li> <li>・移動販売等の試行の調整</li> </ul>
鴨居 地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援・食支援団体等と地域関係者の意見交換会の開催</li> <li>・学習支援・食支援団体等支援</li> </ul>
霧が丘 地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「老い支度」に関する取組での連携</li> <li>・ファイナンシャルノートの作成など</li> </ul>
ふじ寿か園 地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ネットワークサロンの支援者向け研修</li> <li>・自治会と連携した地域内での制度周知</li> </ul>



▲買い物支援に向けた意見交換の様子(東本郷地域ケアプラザ)



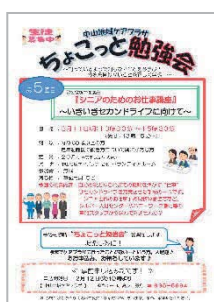
▲こどもの居場所イベントの様子とチラシ(十日市場地域ケアプラザ)



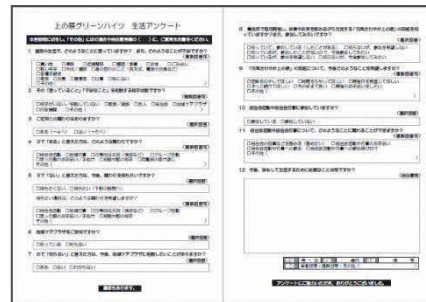
▲老い支度と取組：打ち合わせの様子とFノート(霧が丘地域ケアプラザ)



▲意見交換会「子どもと大人のeee場所づくり」(鴨居地域ケアプラザ)



▲高齢者向けお仕事講座のちらし(中山地域ケアプラザ)



▲住民アンケート用紙(長津田地域ケアプラザ)